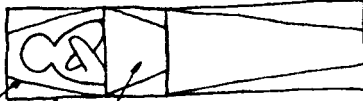
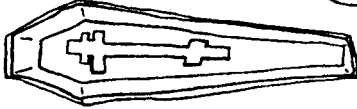
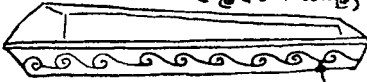
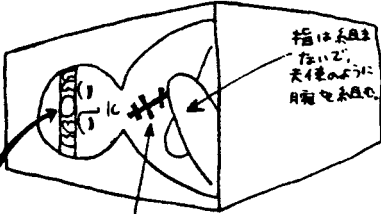


埋葬式、葬式の作法

西
よみがえった日々に導くように
安置する(神品は透)



棺物にて 胸のところに永眠者に
棺物にて 合えるように飾るようになります。



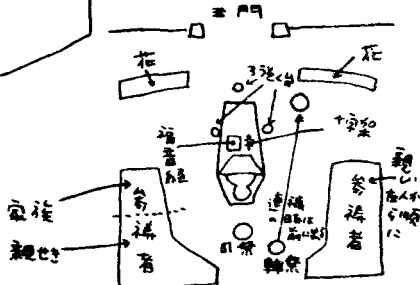
指は添え
ないで、
大徳のよりに
胸を添え

正教会では
お別れの日に
宗廟の主として
接吻をしておけり。
お棺の上の聖書や
十字架に接吻。

正教会では
船形の本宮

渡り舟の形に
似した外側の
舟形に内側の舟形を
入れ、舟の白い部分が
ある。舟の白い部分
は、舟の白い部分を
かけおけること忘れ
ない。

舟形の本宮を船形に
するのは、永眠者が
この世の荒波を
こえ、
聖の舟に乗りこえ、
港に入ることを示す。



- ① 家族は一行に左側の前列に並び、右側の前列から順に親しい者が並び、別れの接吻の後である。
- ② 聖書の読み上げや左人の言葉などは、神父の説教の後、別れの接吻の後である。
- ③ 正教会では、この聖書をあつてお別れの礼をさす。
- ④ お棺を出す日は足部分から出す。
- ⑤ お通夜の初めの後、永眠者の枕元で聖書を讀み、聖王を告げるとして、家族、知人が集まる。